

立候補ご予定者さまお名前: 萩原誠司

【質問票】

質問は4問です。各質問につきまして、該当するものに○をし、詳細内容のご記入をお願いします。なお、“新市政”とは、立候補ご予定者様の市長就任後の新たな市政全体を指します。立候補ご予定者様のマニフェストが実現されることを前提としてご回答ください。また、現市政へ対する提言(実現すべき理想の状態)としてのご回答も可能です。

- (1) 国際目標である「SDGs(持続可能な開発目標)」の達成に向けて、SDGs 未来都市の制度活用や市の政策のSDGs 目線での見直しなど、NPO・NGO、企業、労働組合、消費者団体などとのパートナーシップも行いながら積極的な取り組みを新市政ですすめられますか？

はい ・ いいえ ・ その他

詳細:

別紙のとおり

- (2) 地域の様々な課題解決には民間との協働が重要です。そして、そのためには庁内の部署を超えた連携が重要です。庁外と協働するための庁内連携の仕組みづくりなどに取り組まれますか？

はい ・ いいえ ・ その他

詳細:

別紙のとおり

- (3) 平成30年7月豪雨災害など毎年、災害の懸念が高まっています。一方で民官連携の全県的な仕組み「災害支援ネットワークおかやま」が設立され、岡山市や岡山県と連携を結んでいます。本ネットとの連携など、災害時の民間連携について積極的に新市政ですすめられますか？

はい ・ いいえ ・ その他

詳細:

別紙のとおり

- (4) 中学や高校などで地域学やキャリア教育が進んでいます。域内の小中学だけでなく、高校も含めた地域学のためのコンソーシアム立ち上げや地域コーディネーターの配置など、地域人材を育て、若者の定着や還流を目指す取り組みを新市政ですすめられますか？

はい ・ いいえ ・ その他

詳細:

別紙のとおり

(1) はい

民間との連携はこれまでも取り組んでおり、例えば自立支援に関するNPO法人との連携や新規創業、新規就農者に対する支援、専修学校との連携を推進するなど、民間活力を最大限活用しながら引き続き積極的に取り組んでまいりたい。

(2) はい

市民と行政による協働のまちづくりを推進するうえで、各種会議等へ市民や地域団体、民間企業等に参画していただき、意見を伺うことは、市における事業展開を行ううえで極めて重要であると考えており、これまで郵便局との包括的連携に関する協定の締結のほか、美作日越友好会の設立などを推進してきたところである。併せて、市の施策の基本方針となる第2期総合戦略の着実な推進に向けては、庁内連携が必要不可欠であり、情報交換や意見交換が行われ、相互の情報共有と理解が図られる体制のもと、地域の課題解決をはじめ、地域活性化、人口減少対策に取り組んでまいりたい。

(3) はい

災害時においては、多様な専門性を有する民間との連携が必要不可欠と考えており、これまで、各事業者と応急・復旧対策のほか、ホテルや旅館等の宿泊施設を福祉避難所として利用させていただくための協定締結を行っているところである。今後も積極的な連携に努め、災害発生時における対応強化による、市民生活の可能な限り早急な復興につなげてまいりたい。

(4) はい

県立林野高校では、市からの支援も活用しながら依然より地域課題への対応に向けた取り組みを行っている。併せて、ITを活用した教育に先進的に取り組んでることから、小中学校におけるGIGAスクール構想にかかる機器導入に際しても交流・協力を図ることとしている。なお、現在、行政、民間、学校、NPO法人で組織する「地域連携協議会」を立ち上げて取り組んでおり、市としても若者定着や還流に繋げ、美作市における少子高齢化対策の一助となるよう支援を行ってまいりたい。